

第8期 決算公告

東京都渋谷区代々木二丁目1番1号
 シャームゾン少額短期保険株式会社
 代表取締役社長 春木 卓伸

2021年度(2022年3月31日現在)貸借対照表

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金及び預貯金	1,642,085	保険契約準備金	527,997
現金	—	支払備金	4,684
預貯金	1,642,085	責任準備金	523,313
有価証券	—	代理店借	133,079
国債	—	共同保険借	44,325
地方債	—	再保険借	126,521
その他の証券	—	短期社債	—
有形固定資産	1,140	社債	—
建物	877	新株予約権付社債	—
建物仮勘定	—	その他負債	248,894
その他の有形固定資産	263	借入金	—
無形固定資産	87,372	未払法人税等	70,768
ソフトウェア	83,122	未払金	156
のれん	—	未払費用	39,799
リース資産	—	前受収益	—
その他の無形固定資産	4,250	預り金	1,356
代理店貸	4,490	リース債務	—
共同保険貸	—	資産除去債務	—
再保険貸	60,187	仮受金	125,523
その他資産	252,552	その他の負債	11,290
未収金	244,841	退職給付引当金	682
未収保険料	—	役員賞与引当金	1,830
前払費用	7,711	賞与引当金	13,979
未収収益	—	価格変動準備金	—
仮払金	—	繰延税金負債	—
預託金	—	負債の部 合計	1,097,309
その他の資産	—	(純資産の部)	
繰延税金資産	132,500	資本金	290,000
供託金	15,000	新株式申込証拠金	—
貸倒引当金	—	資本剰余金	420,653
		資本準備金	90,000

		その他資本剰余金	330,653
		利益剰余金	387,365
		利益準備金	—
		その他利益剰余金	387,365
		繰越利益剰余金	100,928
		当期純利益	286,436
		自己株式	—
		自己株式申込証拠金	—
		株主資本合計	1,098,019
		その他有価証券評価差額金	—
		繰延ヘッジ損益	—
		土地再評価差額金	—
		評価・換算差額等合計	—
		株式引受権	—
		新株予約権	—
		純資産の部 合計	1,098,019
資産の部合計	2,195,328	負債及び純資産の部合計	2,195,328

- (注) 1. 有形固定資産の減価償却は、建物（建物附属設備を除く）並びに 2016 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備及び構築物については法人税法の規定に基づく定額法、その他有形固定資産については法人税法の規定に基づく定率法で行っております。
2. 無形固定資産の減価償却は、法人税法の規定に基づく定額法で行っております。
3. 賞与引当金は従業員賞与に充てるため、支給見込額のうち当会計年度に負担すべき額を基準に計上しております。
4. 役員賞与引当金は役員賞与に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。
5. 退職給付引当金は従業員の退職時に支給するため、期末現在の要支給額に基づき計上しております。
6. 消費税等の会計処理は税抜方式によっております。なお、資産に係る控除対象外消費税等は前払費用に計上し、5 年間で均等償却を行っております。その他の控除対象外消費税等は発生会計年度の期間費用としています。
7. 有形固定資産の減価償却累計額は 6,419 千円です。
8. 責任準備金は保険業法施行規則第 211 条の 46 の規定に基づく準備金であり、同第 1 項第 1 号イに規定する未経過保険料の金額は、純保険料等に基づく算出方法により計算しております。
9. 金融商品に関する注記
- (1) 金融商品の状況に関する事項
少額短期保険業者の資産運用は、預貯金（外貨建てを除く）・国債・地方債に限定されているうえ、当社では安全性・流動性確保のため預貯金による運用を基本方針としております。
- (2) 金融商品の時価等に関する事項
2022 年 3 月 31 日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表 計上額 (*1)	時価 (*1)	差額
(1) 現金及び預貯金	1,642,085	1,642,085	—
(2) 未収金	244,841	244,841	—
(3) 代理店借	(133,079)	(133,079)	—
(4) 再保険借	(126,521)	(126,521)	—
(5) 再保険貸	60,187	60,187	—
(6) 共同保険借	(44,325)	(44,325)	—

(*1) 負債に計上されているものについては、() で示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

当社が保有する金融商品のうち重要性があるものは上記表のとおりであります。これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価格によっております。

10. 当期末における支払備金および責任準備金の内訳は次のとおりであります。

(支払備金)

支払備金 (出再支払備金控除前)	93,680 千円
同上にかかる出再支払備金	88,996 千円
差引 (イ)	4,684 千円
IBNR 備金 (出再 IBNR 備金控除前)	— 千円
同上にかかる出再 IBNR 備金	— 千円
差引 (ロ)	— 千円
計 (イ+ロ)	4,684 千円

(責任準備金)

普通責任準備金 (初年度収支残)	513,259 千円
異常危険準備金	10,053 千円
計	523,313 千円

11. 当期末における繰延税金資産の内訳は次のとおりであります。

(繰延税金資産)

普通責任準備金	125,326 千円
未収入金	6,743 千円
賞与引当金	3,914 千円
その他	1,934 千円
繰延税金資産合計	137,917 千円

(繰延税金負債)

営業未払金	5,417 千円
繰延税金負債合計	5,417 千円

繰延税金資産 (純額)

差引	132,500 千円
----	------------

12. 1株当たりの純資産額は144,476円23銭であります。算定上の基礎である純資産額は1,098,019千円であり、その全額が普通株式に係るものであります。また、普通株式の当期末発行済株式数は7,600株であります。
13. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

2021年度 (2021年4月1日から
2022年3月31日まで) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額
経常収益	5,475,109
保険料等収入	5,064,926
保険料	2,731,491
再保険収入	2,333,434
回収再保険金	209,157
再保険手数料	1,889,904
再保険返戻金	234,372
その他再保険収入	—
責任準備金等戻入額	—
支払備金戻入額	—
責任準備金戻入額	—
資産運用収益	—
利息及び配当金等収入	—
その他運用収益	—
その他経常収益	410,183
経常費用	5,050,472
保険金等支払金	3,061,790
保険金等	220,166
解約返戻金等	246,707
契約者配当金	—
再保険料	2,594,917
責任準備金等繰入額	70,349
支払備金繰入額	229
責任準備金繰入額	70,119
資産運用費用	—
事業費	1,772,241
営業費及び一般管理費	1,514,431
税金	141,193
減価償却費	116,615
退職給付引当金繰入額	—
その他経常費用	146,091
経常利益	424,636
特別利益	—
特別損失	—
価格変動準備金繰入額	—
その他特別損失	—

契約者配当準備金繰入額	—
税引前当期純利益	424,636
法人税及び住民税	141,700
法人税等調整額	△3,500
法人税等合計	138,200
当期純利益	286,436

(注) 1. (1) 正味収入保険料は、124,240千円であります。

(2) 正味支払保険金は、11,008千円であります。

(3) 支払備金繰入額（△は支払備金戻入額）の内訳は次のとおりであります。

支払備金繰入額（出再支払備金控除前）	4,598千円
同上にかかる出再支払備金繰入額	4,368千円
<hr/>	
差引（イ）	229千円
IBNR 備金繰入額（出再 IBNR 備金控除前）	—千円
同上にかかる出再 IBNR 備金繰入額	—千円
<hr/>	
差引（ロ）	—千円
<hr/>	
計（イ＋ロ）	229千円

(4) 責任準備金繰入額（△は責任準備金戻入額）の内訳は次のとおりであります。

普通責任準備金繰入額	67,180千円
異常危険準備金繰入額	2,939千円
<hr/>	
計	70,119千円

2. 1株当たりの当期純利益は37,689円05銭であります。算定上の基礎である当期純利益は286,436千円であり、その全額が普通株式に係るものであります。また、普通株式の期中平均株式数は7,600株であります。

なお、潜在株式がないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益は算出しておりません。

3. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。